

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年1月25日 No.95



これが
未加入者の
ホンネだ!

ご協力ありがとうございました。短期間で多くの本音が集まりました

未加入者アンケート結果シリーズ④

ポイント

会社「人材確保・人材流出に問題意識がある」
「そこに対し、新たな仕事・組織、様々な施策を推進しやりがいを出している」

魅力のある企業になっているのか？

Q 家族や知人に、JR 東日本で働くことを薦めたいと思いますか。

思う (6.7%)

どちらでもない (41.2%)

思わない (52.2%)

【思う 主な意見】

いわゆるサビ残がない。過労死などの話も聞かない。福利厚生がしっかりしている。

【どちらでもない 主な意見】

ネームブランドはあるが、実際のところ給料は安い、いまどきの会社ではない。／急速に合理化が進んでいて未来が読めない／鉄道好きな人ならこれ以上間近で関われる会社は無いから。少なくとも給料や安定性で入る会社ではなくなったと思う。

【思わない 主な意見】

いざ入社してみれば名ばかりの薄っぺらい会社。正直内情や業務実態など人に恥ずかしくて見せられない。／社外には耳あたりの良い事ばかりだが広報されるが、社内の実情は惨憺たるもの。／「鉄道の仕事がしたい」と入った会社だったが、企画業務やマイプロ、各種会議といった仕事が増え、どんどん鉄道の仕事ができなくなっている。企画業務がお客さまの満足や仕事のやりやすさに繋がればよいが、担当者の点数稼ぎのための業務になっている。全てが中途半端。将来性がない。／自分と同じ苦勞をして欲しくないから。もっと良い会社はたくさんあるから。／社員を守る気がない会社だから。お客に事実を言っても不快な思いをさせたら社員が悪となる、そして会社の責任なのに社員が訳の分からない責任を取らされて社会的にも会社に潰されかねない。そして業務量の異常さに身体を悪くする。／人権が消える／今後は給与面や福利厚生などがどんどん悪くなるから。また、社畜になってゴマをすらなければ出世できないような会社に未来はない。いつか大きな事故が起きないか心配だから。／安全軽視や隠蔽。野球部助役がお客さまの財布から現金盗んでもお客さまが被害届出さないからと行って今も職を続けている。一般社員なら懲戒解雇／理想と現実のギャップが激しすぎる。仕事においては自分の希望も意見も管理者に伝えたところで上層部には行くことなく覆ることがない。福利厚生においても、例えば社宅、寮においては就活生向けパンフレットの用に綺麗な建物はごく一部で地方に関しては基本汚いイメージ。強いて言えば、社員用パスのメリットは大きいがいままで利用できるかも分からない状況。／きついきついきつい／3K の業務が多く、入社直後から業務委託の心配もあり、JR 本体に意気揚々と入社しても早々に他会社永久出向の可能性も常にあり、展望が見えないため。また管理職社員の職場へのビジョンが不透明であり、全ての皺寄せが現場社員にきていること。せっかく希望を抱いて入社してきた若手社員の意欲を低下させることばかりのため。

未加入者の多数＝今のJR東日本に就職を薦められる魅力はない